

こどもまんなかアクション等の概要説明 (こども家庭庁)

こども未来戦略方針（令和5年6月13日閣議決定）

I. こども・子育て政策の基本的考え方

II. こども・子育て政策の強化：3つの基本理念

1. こども・子育て政策の課題

- (1) 若い世代が結婚・子育ての将来展望が描けない
- (2) 子育てしづらい社会環境や子育てと両立しにくい職場環境ある
- (3) 子育ての経済的・精神的負担や子育て世帯の不公平感が存在する

2. 3つの基本理念

- (1) **若い世代の所得を増やす**
- (2) **社会全体の構造・意識を変える**
- (3) **全てのこども・子育て世帯を切れ目なく支援する**

III. 「加速化プラン」～今後3年間の集中的な取組～

1. 加速化プランにおいて実施する**具体的な施策**

- (1) **ライフステージを通じた**子育てに係る**経済的支援の強化**や若い世代の所得向上に向けた取組
- (2) **全てのこども・子育て世帯**を対象とする**支援の拡充**
- (3) **共働き・共育ての推進**
- (4) **こども・子育てにやさしい社会づくり**のための意識改革

2. 「加速化プラン」を支える**安定的な財源の確保**

3. こども・子育て**予算倍増に向けた大枠**

IV. こども・子育て政策が目指す将来像とPDCAの推進

こども未来戦略方針(抄)

4. こども・子育てにやさしい社会づくりのための意識改革

- こども・子育て政策を実効あるものとするためには、行政が責任をもって取り組むことはもとより、こどもや子育て中の方々が気兼ねなく様々な制度や支援メニューを利用できるよう、地域社会、企業など様々な場で、年齢、性別を問わず、全ての人がこどもや子育て中の方々を応援するといった社会全体の意識改革を進める必要がある。
- こどもや子育て世帯を社会全体で支える気運を醸成するため、優先案内や専門レーンを設置するなどの取組が国立博物館など国の施設において今春にスタートしており、利用者のニーズを踏まえつつ、こうした取組を他の公共施設や民間施設にも広げていくとともに、公共インフラのこども向け現場見学機会の増加など、有意義な体験の場を提供する。
- また、鉄道やバスなどにおけるベビーカー使用者のためのフリースペース等の設置や分かりやすい案内の促進とともに、公共交通機関等において、妊産婦や乳幼児連れの方を含め、配慮が必要な方に対する利用者の理解・協力を啓発する取組を推進する。
- さらに、本年5月には「こどもまんなか宣言」の趣旨に賛同する企業・個人・地方自治体などに「こどもまんなか応援サポーター」となってもらい、「今日からできること」を実践し、取り組んだ内容を自らSNSなどで発表する「こどもまんなか応援プロジェクト」の取組が始まっている。こうした取組に加え、子育て世帯を対象としたニーズ調査も行いつつ、こども・子育てを応援する地域や企業の好事例を共有・横展開するなど、こども・子育てにやさしい社会づくりのための意識改革に向けた国民運動を夏頃を目途にスタートさせる。
- もとよりこうした意識改革は、少子化の危機的な状況、そして今のこどもを取り巻く状況や、子育て世帯の負担がいかに大きなものかということをより多くの方に理解していただくことによって、自然と周囲の協力が行われることが望ましい。社会の意識を変えていくことは簡単ではないが、大きな挑戦と捉え、様々な手法で国民的な議論を起こし、より多くの方の理解と行動を促していく。

1. 趣旨

こどもや子育て中の方々が気兼ねなく様々な制度やサービスを利用できるよう、地域社会、企業など様々な場で、年齢、性別を問わず、全ての人がこどもや子育て中の方々を応援するといった社会全体の意識改革を進める。

2. これまでの取組と今後のスケジュール

4月28日 GW前後に「こどもファスト・トラック」を実施予定の施設の公表

5月2日 「こどもまんなか応援プロジェクト」の発表

・こどもまんなかに向けてプラスアルファのアクションを起こし、「#こどもまんなかやってみた」を付けてSNS等で発信するよう企業・個人・自治体などに広く呼びかけ。

6月6日 「こどもまんなかマーク」投票開始（～6月末まで）

6月12日 子育て当事者に対するニーズ調査実施（ウェブアンケート）

7月22日 **「こどもまんなかアクション」キックオフイベントの開催**
「こどもまんなかアクション」の本格始動を宣言

以降順次 「こどもまんなか応援サポーター」や「こどもファスト・トラック」の好事例の発信

各地域でリレーシンポジウムの開催（リアル・オンライン）

11月を「秋のこどもまんなか月間」と定める

「こどもまんなかアワード」の発表

SNSを活用したプッシュ型での情報発信 など

こどもまんなか応援サポーター概要

【こどもまんなかの趣旨に賛同し、自らもアクションに取り組んでいただける個人、団体、企業、自治体などを「こどもまんなか応援サポーター」と呼んでいます】

1 こどもまんなかの趣旨に賛同する。

こどもまんなか社会実現に向けて、賛同した方・団体メンバーご自身がこども若者に対して何ができるのかを考えるきっかけづくり。

「こどもまんなか」

こどもや若者の意見を聴き、その意見を尊重し、こどもや若者にとってよいことは何かを考え、自分ができるアクションを実践していきます。どんなこどものことも考えていきます。

2 サポーターご自身が考える「こどもまんなか」なアクションを実行する。

こども・若者に意見を聴き尊重した上で何ができるか、の答えはさまざま、正解はありません。それぞれにできる、こどもまんなかに向けたアクションをぜひお願いします。

※ アクション例

- ・「こどもかいぎを開いて、こども・若者の意見をきいて〇〇に反映してみた」
- ・「電車の乗り降りで、ベビーカーを優先する」・「トイレの行列など、子連れに順番譲っている」
- ・「荷物を持つてるお子さん連れに、ドアあけてあげる」・「お店に子連れ優先席つくった」

3 ご自身・団体のアクションを発信したり、地域社会に広く参加を呼びかける。

SNS(Twitter、Instagram等) やYouTube上でそれぞれのアクションを **#こどもまんなかやってみた** をつけて発表。積極的な発信とアクションのご協力をお願いいたします。

こども家庭庁はリツイートやホームページでのご紹介等で拡散とみなさまのアクションの見える化を行います。

- ※ みなさんに使っていただける「こどもまんなかマーク」が投票により決定。ホームページで登録いただくことによりご活用いただけます。

<https://www.cfa.go.jp/mannaka-mark/>

こども
まんなか

広がっています！こどもまんなか応援サポーター

東京都江東区



北海道



熊本県とくまモン



神奈川県



水戸市



旭川市



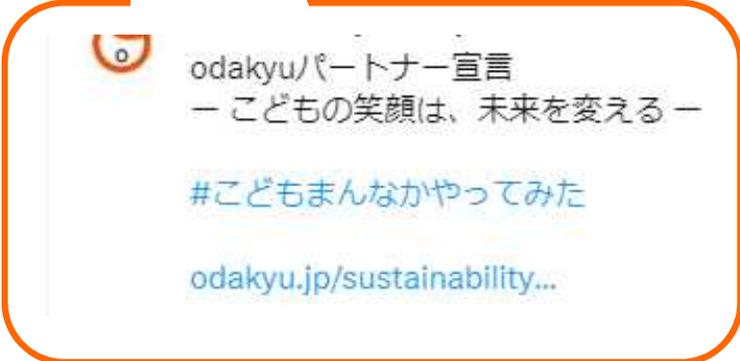
city.koto.lg.jp/281010/kodomo/...
#江東区 #こどもまんなかやってみた

自治体のみなさま、団体のみなさま、企業のみなさま、みなさまの取組やアクションを
全国とつなげていき、「こどもまんなか」をひろげていきましょう。#こどもまんなかやってみた

小田急電鉄



#こどもまんなかやってみた
をつけて発信するだけで参加できます。
#検索で取組が見えるようになります。



JR博多シティ



コドモン



日本航空



山形トヨタ



ユニ・チャーム



ファミリーマート



伊藤忠商事



企業のみなさまが取り組んでいることを #こどもまんなかやってみた をつけて発信していただくことで、こども家庭庁がリツイート等で拡散。みなさまの取組が見える化し、社会の空気を変えていきます。

こどもまんなか応援サポーター参加3つのステップ

- 1 こどもまんなかの趣旨に賛同する。
- 2 サポーターご自身が考える「こどもまんなか」なアクションを実行する。
- 3 アクションを「#こどもまんなかやってみたを」つけて発信したり、地域社会に広く参加を呼びかける。

いま、取り組まれているアクションを「#こどもまんなかやってみた」をつけて発信いただくだけでサポーター参加です！

こども家庭庁からは、リポストや「いいね」で拡散や取組の見える化、PR協力いたします。

また、取組の好事例はこども家庭庁のホームページやこどもまんなかアクション公式LINEにてご紹介しています。

◆紹介例はこちらからご覧ください。



<https://www.cfa.go.jp/policies/kodomo-mannaka/case/>

「こどもまんなか」をめざして、連携どうぞよろしく願いいたします。